

平成28年8月28日

守谷市議会議長 殿

委員長： 川名 敏子 印

報告者： 渡辺 大士 印

## 都市経済常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施・参加したので報告します。

視察・研修日	平成28年7月22日（金）	
視察・研修場所	群馬県富岡市	
視察・研修項目	富岡製糸場世界遺産登録に係る街並み保全計画について （事業概要、経緯、現状と課題等）	
参加者	守谷市側	川名敏子委員長、長谷川信市副委員長、渡辺秀一委員、 高梨隆委員、神宮栄二委員、渡辺大士委員、 都市整備部長 山中 毅、議会事務局 望月理恵
	相手側	議長 堀越英雄、議会事務局次長 吉田稔 経済建設部都市計画課長 小島康弘、都市景観係長 五十川
視察・研修目的	富岡市は進めていた土地区画整理事業を休止し、製紙場周辺の緩衝地帯の保護保全のため、180度転換した新たなまちづくり計画を、市民とともにワークショップにより作成していった。景観計画の概要や市民への景観形成助成金制度による街並み形成の成果などを研修する。	
視察・研修内容	別紙のとおり	
視察・研修総括 （今後の取組み等）	ユネスコ世界遺産登録決定により、都市計画を変更せざるを得なくなったが、景観計画策定、景観条例制定、景観形成助成金交付要綱施行など、矢継ぎ早に施策を進め、旧街道の街並みが見事に蘇えらせていた。また、屋外広告物条例を制定し、独自の許可基準を設けることによって、景観施策と一体的に規制していったこと等、大いに参考となった。	

## 視察・研修内容

富岡製糸場世界遺産登録に係る街並み保全計画について

・富岡市の景観特性と課題

① 自然的景観

② 都市的景観

③ 歴史的景観

上記3つの景観を大切にす。

・景観の目標像

テーマは「妙義の山なみと歴史ある製糸場が彩る心地よさに包まれたまち富岡」

そのために「まもり、いかす」「なおす」「つくる」「そだてる」の4手法で景観づくりを進めている。

また富岡市では景観の基準大きく2つ「景観形成基準」と「色彩基準」に分けて実施していた。

その他の取り組み

・屋外広告物の制限

・景観重要建造物および景観重要樹木の指定

・景観重要公共施設の整備

・協働による景観づくり